

二十歳になって



加藤 義昭 (秋)

二十歳という人生の大きく重要な節目を迎え、未成年という殻の中から一歩抜け出し大人の仲間入りをしました。だからといって自分自身が特別変わるわけではないと思います。これからは、社会の一メ

躍進の年に



小河原 マリ (白)

去年、初の着物を姿を見ながら、来年は私か。と思いつつ、まだ十年も二十年も先の事の様には想像していません。今年一自分である。成人式である。つまり二十歳。まさに「エニアウツソー」/ホントの「世界だ」。自分ではまだまだ子供とばかり思っていたのに、しかし着実に成長していた。泣き止んだが、男よりうっすく

メンバーとして、また、大人として扱われます。そんな自分に責任という大きき荷物が増えつつありますが、少し不安に思いますが、二十歳をスナップに今までの甘い気持ちを引き締め、いろいろをこなすに挑戦し、困難を乗り越え、充実した毎日を過ごせればと考えています。そして、社会とのかかわりの中で魅力ある人間になれたらと思います。

なつた私。一忍耐力と責任感に磨きがかかった私。仕事ができる女になつた。と思う……身長の成長には悲しいものがあるが、何事も努力すれば、たとえ失敗したとしても、必ず前よりも大きな自分になり得ると思う。私は苦勞を喜びとする。苦勞が大きい分だけ成長も大きいし、個々が深い分だけ磨り減った喜びも大きいから。

二十歳になつた今、更に磨きをかけ、もっと多くの人を見つめられ、愛し愛される女性になりたい。



二十歳

三木 千恵 (紅)

二十歳の誕生日を迎えた時、複雑な心境になりました。懐かしいけれどもいつもより盛大に祝ってくれた家族や友人たちの心温まるお祝いに、喜びと同時に、

子供から大人へと脱皮しなければいけないという少し悲しい気持ち。二十歳はまだまだ先の事だと思っていたのに、経済的にも精神的にもまだまだ未熟で子供し抵抗を感じています。これから先、様々な面で自分の責任を自分で負わなければならない自分が、その方々が、今日新成人となつた私たちを快く受け入れてくださるようには、是非よろしくお願いします。

子供から大人へと脱皮しなければいけないという少し悲しい気持ち。二十歳はまだまだ先の事だと思っていたのに、経済的にも精神的にもまだまだ未熟で子供し抵抗を感じています。これから先、様々な面で自分の責任を自分で負わなければならない自分が、その方々が、今日新成人となつた私たちを快く受け入れてくださるようには、是非よろしくお願いします。



平成7年 成人式 記念撮影

かみら市川自衛隊団は茨城県を中心に石岡から多岐にわたる自衛隊員がパワーあふれる活動を行っています。国内はもとより、海外でも活躍を披露してくれました。

二十歳になって

僕は今年、成人式をむかえました。もう二十年たつてしまったのかというのが一番の感想です。これからは、二十代のまま続いていくような気がしています。

それは、自分是一人暮らしをしています。学生というところもありません。しかし、

友へ



鈴木 重紀 (青)

今、生きているこの時間を大切にしたい。自分が望むことに従い、思い残さないようにしよう。喜びや悲しみを友人と分かち合ってい

けたらすばらしいことだと思う。僕は、成人を迎え何ひとつ変えることはできないからしれない。ただ、成人を迎え去っていく我が家の親友に、想しむ自分、また涙を流してくれる友がいることをずっと一生大事にできる人になりたいです。



記念撮影「はい、ポーズ」



神戸 健一 (小)